



一步前進!

サンライフリハセンター通信 特別号
『 ~事例をご紹介します~ 』

普段の生活の中で困っていることや、不便だと感じることはありませんか？

現在みなさんに目標を記入して頂いてますが、目標を把握することでリハセンター内での取り組みが意味のあるものになるのではないかと考えています。

「今までできなかったことができるようになった」「目標に近づけた」「目標が達成できた」そんな声が聞こえてきたらいいな…。私たち職員はみなさんの目標達成に向かって、精一杯サポートしていきます。みなさんが頑張っている様子をこれからどんどん紹介していきますね！

⑤モニタリング (目標の見直し)

利用者さんの現状をみて、目標達成に向かっているのかを確認します。利用者さんの様子を見ながら、新たな目標を考えます。



①担当者会議

ケアマネ、デイケア、ヘルパーなどの専門職が集まり、利用者さんの目標や日常生活での問題点などを話し合います。

②ケースカンファレンス (事例検討会)



①での話し合いの結果をリハセンター職員が把握し、利用者さんの目標が達成できるように、個別リハビリ内容などを作成します。

③目標を書く

目標には長期目標・短期目標があります。②で作成した目標を確認し、その後本人により目標を記入します。

※いつでも確認できる様、連絡帳に貼っています。



④サービス提供 (リハセンターでの活動)

目標に合わせたリハセンターでの取り組みは、個人個人で違います。目標達成できるよう職員が支援していきます。



事例1 Yさんのケース	80才代、女性 平成26年に膝の手術をしている
<p>【問題点】 膝の手術をしたばかりで、元のように歩けるか不安で…</p> 	
<p>【目標】 手すりや歩行器を使って、安全に歩行ができるように、一緒にがんばりましょう！そして、しっかりと歩いて、家族旅行にも行けるようにサポートします！</p> 	
<p>【個別リハ】 ①マシン運動</p>	
<p>【個別リハ】 ②座って運動</p>	
<p>【個別リハ】 ③歩行訓練</p>	
<p>平成27年8月に要介護2から要支援2へと介護度が軽くなりました。</p> 	